

平成27年(2015年)3月の結果 (二人以上の世帯)

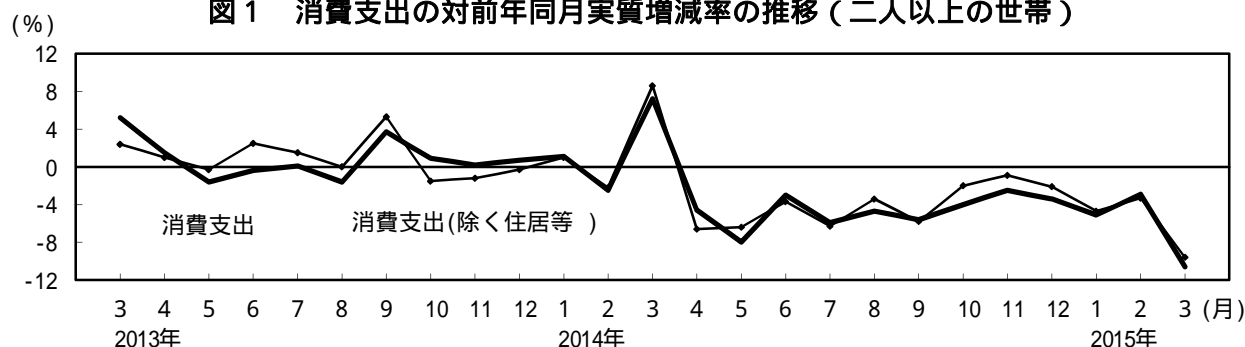
二人以上の世帯

・消費支出は、	1世帯当たり 317,579 円		
前年同月比	実質 10.6%の減少	前月比(季節調整値)	実質 2.4%の増加
	名目 8.1%の減少		
・消費支出(除く住居等)は、	1世帯当たり 268,171 円		
前年同月比	実質 9.6%の減少	前月比(季節調整値)	実質 2.8%の増加
	名目 7.1%の減少		
・勤労者世帯の実収入は、	1世帯当たり 449,243 円		
前年同月比	実質 0.3%の減少		
	名目 2.5%の増加		

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

1 消費支出の推移

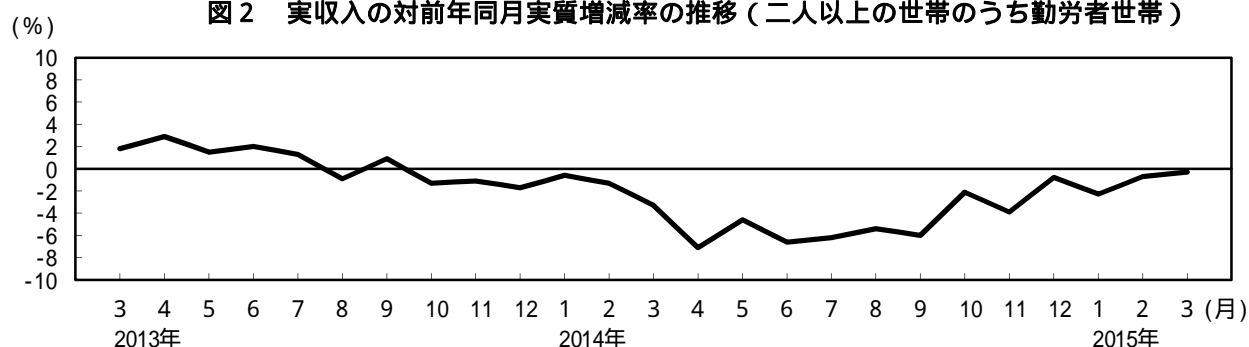
図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)



	2014年												2015年		
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
消費支出	7.2	-4.6	-8.0	-3.0	-5.9	-4.7	-5.6	-4.0	-2.5	-3.4	-5.1	-2.9	-10.6		
消費支出(除く住居等)	8.6	-6.6	-6.4	-3.7	-6.3	-3.4	-5.8	-2.0	-0.9	-2.1	-4.7	-3.3	-9.6		

2 勤労者世帯の収入の推移

図2 実収入の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	2014年												2015年		
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
実収入	-3.3	-7.1	-4.6	-6.6	-6.2	-5.4	-6.0	-2.1	-3.9	-0.8	-2.3	-0.7	-0.3		
可処分所得	-3.2	-7.0	-3.4	-8.0	-5.2	-5.2	-5.9	-2.4	-3.9	-0.3	-2.5	-0.5	-1.1		
消費支出	7.5	-6.9	-8.8	-4.5	-3.6	-6.0	-7.3	-3.4	-1.2	-3.0	-4.3	-3.6	-11.0		
平均消費性向*	10.6	0.1	-5.4	1.9	1.2	-0.6	-1.4	-0.8	2.4	-1.3	-1.6	-2.3	-10.7		

*：対前年同月ポイント差

3 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2015年3月 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率 へ の 寄 与 度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	317,579	-8.1	-10.6	-		12か月連続の実質減少
食 料	72,243	-1.7	-5.7	-1.20	<減 少> 酒類,穀類など	4 か月連続の実質減少
住 居	17,770	-14.6	-16.0	-0.97	<減 少> 設備修繕・維持	3 か月連続の実質減少
光 熱 ・ 水 道	30,000	0.5	-3.0	-0.26	<減 少> 電気代,他の光熱など	12か月連続の実質減少
家具・家事用品	10,414	-38.2	-39.6	-1.93	<減 少> 家庭用耐久財,家事用消耗品など	12か月連続の実質減少
被 服 及 び 履 物	13,185	-11.8	-14.9	-0.65	<減 少> 洋服,下着類など	2 か月ぶりの実質減少
保 健 医 療	13,490	-11.7	-13.2	-0.58	<減 少> 保健医療用品・器具,医薬品	2 か月連続の実質減少
交 通 ・ 通 信	47,251	-15.9	-16.1	-2.61	<減 少> 自動車等関係費,交通	2 か月ぶりの実質減少
教 育	12,273	5.4	3.1	0.11	<増 加> 補習教育,教科書・学習参考教材	2 か月ぶりの実質増加
教 養 娛 楽	30,261	-10.7	-14.0	-1.37	<減 少> 教養娯楽用耐久財,教養娯楽用品など	12か月連続の実質減少
その他の消費支出	70,692	-2.5	(-5.2)	(-1.09)	<減 少> 諸雑費	17か月連続の実質減少
消 費 支 出 (除 く 住 居 等)	268,171	-7.1	-9.6	-		12か月連続の実質減少

： 「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の（ ）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 減少項目 >

実質寄与度

自動車等関係費	[-2.42]	自動車購入,ガソリン
諸雑費	[-1.24]	葬儀関係費,たばこ
設備修繕・維持	[-1.14]	設備器具,修繕材料
家庭用耐久財	[-1.10]	エアコンディショナ,電気冷蔵庫
教養娯楽用耐久財	[-0.64]	パーソナルコンピュータ,カメラ
保健医療用品・器具	[-0.46]	眼鏡,保健用消耗品
教養娯楽用品	[-0.40]	ペットフード,スポーツ用品
交通	[-0.38]	鉄道通勤定期代,鉄道通学定期代
家事用消耗品	[-0.37]	トイレットペーパー,洗濯用洗剤

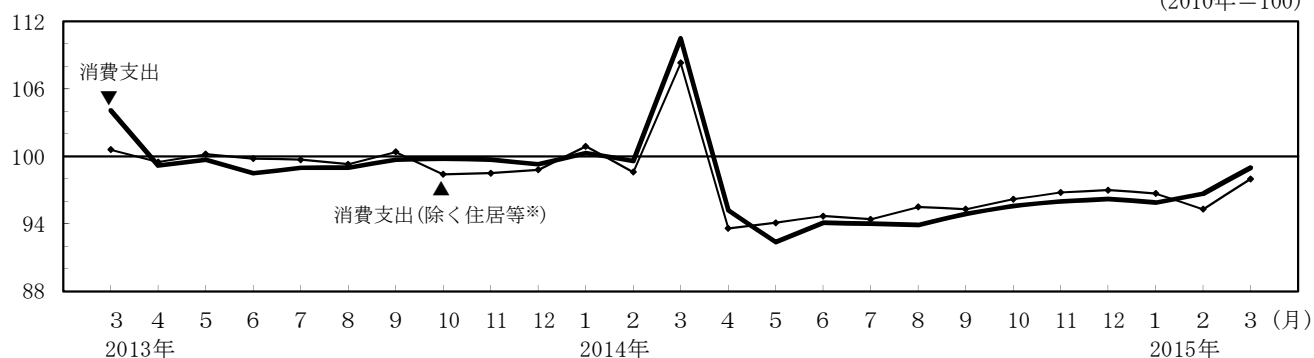
< 増加項目 >

通信	[0.23]	移動電話通信料,移動電話
----	--------	-------	--------------

注 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移（二人以上の世帯）

(2010年=100)



	2014年											2015年		
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		1月	2月	3月
消費支出	110.5	95.2	92.4	94.1	94.0	93.9	94.9	95.6	96.0	96.2		95.9	96.7	99.0
対前月変化率(%)	10.9	-13.8	-2.9	1.8	-0.1	-0.1	1.1	0.7	0.4	0.2		-0.3	0.8	2.4
消費支出(除く住居等※)	108.3	93.6	94.1	94.7	94.4	95.5	95.3	96.2	96.8	97.0		96.7	95.3	98.0
対前月変化率(%)	9.8	-13.6	0.5	0.6	-0.3	1.2	-0.2	0.9	0.6	0.2		-0.3	-1.4	2.8

※：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

2 季節調整値は、毎年1月結果公表時に、過去に遡って改定している。

4 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（2015年3月－二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	449,243	2.5	-0.3	—	18か月連続の実質減少
世 帯 主 収 入	360,234	0.3	-2.4	-1.97	13か月連続の実質減少
定 期 収 入	349,458	0.8	-1.9	-1.51	14か月連続の実質減少
配 偶 者 の 収 入	54,785	2.6	-0.2	-0.02	2か月連続の実質減少
他の世帯員収入	8,586	16.3	13.1	0.22	2か月連続の実質増加
非 消 費 支 出	84,629	6.5	—	—	3か月連続の増加
可 処 分 所 得	364,614	1.7	-1.1	—	20か月連続の実質減少
消 費 支 出	351,974	-8.5	-11.0	—	12か月連続の実質減少
平均消費性向(%)	96.5	(前年同月) (ポイント差)			季節調整値でみると、76.5%で、前月に比べ、3.6ポイントの上昇となった。
		107.2	-10.7		

注1 「非消費支出」とは、税金や社会保険料など、世帯の自由にならない支出である。

「可処分所得」とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

「平均消費性向」とは、可処分所得に対する消費支出の割合である。

2 実収入には、勤め先収入(世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入)のほか、事業・内職収入、社会保障給付、財産収入などが含まれる。